

射水市社会教育委員会議の概要について

生涯学習・スポーツ課 生涯学習係

1 会議

日時：令和5年7月26日（水）午前10時～11時30分

場所：本庁舎401会議室

2 出席者

【委員】 小竹委員、稲垣委員、石森委員、瀧田委員、高田委員、高橋委員、藤井委員
(委員10名中7名出席)

【事務局】 金谷教育長、久々江事務局長、遠藤事務局次長、星野課長、稲田主査、
田中課長補佐、鳥本課長補佐、石黒係長、上田主任

3 会議概要

【説明事項】 コミュニティ・スクールの導入について

【報告事項】 令和4年度社会教育主要事業の現況と成果等について
(内容)

社会教育の分野における14の主要事業について、令和4年度の取組状況、成果と課題を報告するとともに、今後の取組状況について説明した。

4 説明事項についての主な質疑・発言

〔委員〕 コミュニティ・スクールは、地域との協働が具現化されたものの一つと理解している。ものを申すことができるようになるという捉え方ではなく、できることは地域で賄っていくという方向に向かえばよいと思う。若い世代の人にも、導入される理由や異議を伝えることができなければ、目的が達成できないと思われる。

〔事務局〕 現在、学校評議員や各種会合等、様々な機会を利用して、委員になっていただけるような方を中心に理解を深めていただくため、説明の時間を設けている。今後、PTAや教員、地域へも、段階的に説明の機会を広げていきたいと考えており、地域の子どもを地域で育てていくという方向性が浸透することを期待している。

〔事務局〕 学校と地域の繋がりがしっかりしていたため、学校現場では導入の必要性をあまり感じてこなかったが、新型コロナウイルスの影響により、学校と地域のパイプが細くなったところもあり、ここで組織を見直すべきと考えた。また、これまでは、学校と地域が、個々で事業を企画してきたが、学校と地域が共通理解を図れる場を設けることによって、お互いにできることを一緒に考えることができ、地域・学校・子供が求めていることがうまく合致することで、効率的に事業が運営されることを期待し導入を進めている。今後、地域ごとに内容等をすり合わせていくため、取り組み方が地域によって異なってくる可能性はある。

〔委員〕 学校と地域の風通しが良くなることはよいが、3年間で機能し始めるのは難しいと感じる。PTA や保護者の役割も残しつつ、足りないところに地域の力が入っていくシステムであればよいと思う。子どもが少ない地域では学校との繋がりも薄くなるため、地域の取組や自然の魅力を発信する場でもあってほしいが、地域でもボランティアで活動に協力してもらうことが難しくなりつつある。先生の負担が増えることに繋がらなければよい。

〔事務局〕 委員のご発言のような、地域の実情に合った問題や課題を、学校運営協議会で出し合って、解決に繋げていくことを期待している。コーディネーターが、学校と地域、両方の意見を吸い上げて進めていくことができれば理想的である。

〔委員〕 全国的な都市部と比較すると富山県は、学校と地域のつながりが強いと感じており、導入により、さらに何が変わるのかとも感じる。形式的なものにとどまらず、コミュニケーションの量と質が高まることに繋がればよいと期待している。

5 報告事項についての主な質疑・発言

(1) 埋蔵文化財調査事業について

〔委員〕 出土した網代団扇の展示が令和4年度の新湊博物館来館者の増加に影響していると考えてよいか。新聞等メディアを活用し、これまで情報が届かなかった人へも広報することで入館者の増加につながったと思うが、他の施設やイベントでも利用できる手法があれば利用して欲しい。

〔事務局〕 新湊博物館は、今年度、ホームページをリニューアルしているほか、LINE、Facebook、Instagram の各種 SNS を活用した発信を増やしており、今後も来館者が伸びていくことを期待している。

(2) 二十歳のつどいについて

〔委員〕 過去には、1月に体育館で開催されていたが、今後、会場の移動はあるのか。

〔事務局〕 対象者の人数の面から、前回の会場である高周波文化ホールで今後も検討している。

〔委員〕 コロナ対策など対象者のことを考えて工夫されていた。開催日が5月なら雪の心配はないが、冷暖房も完備されたホールでの開催となってよかったと思う。

(3) 幼児の体力向上支援事業について

〔委員〕 幼児教育という面からみると、単発の行事として終わるよりは、園庭に木や築山が整備され、多様性のある園庭になればと思う。

〔事務局〕 生涯学習・スポーツ課として体力向上の支援を行ったが、園庭の整備については、子育て支援課にご意見があったことを伝える。